

市民公開講演会 ～広島京大会主催・京都大学共催～

『日本の宇宙開発』

～生活に密着した宇宙から太陽系探査まで』

講師 山川 宏氏（京都大学教授）

概要 「宇宙開発」と聞いて、皆さまは何を想像しますか。私は、例えば、日本人宇宙飛行士の活躍、望遠鏡による宇宙の起源の解明、探査機による太陽系探査、GPS 衛星からの情報によるカーナビなどが思い浮かびます。一方で、近年、宇宙は、大学やベンチャー企業も、自ら人工衛星やロケットを作り、その機能を使ったさまざまなビジネスを展開する場となっています。そして、宇宙と農業、宇宙と漁業、宇宙と物流など従来は考えられなかった新しい組み合わせによるサービスが展開しつつあります。この講演では、従来の「宇宙」はもちろん、近年、急速に広がりつつある新しい身近な「宇宙」について考えてみたいと思います。

11月24日（木）午後5時から1時間余

（開場 午後4時半）

ANAクラウンプラザホテル広島（広島市中区中町）

3階オーキッドの間 入場無料。先着500人

問い合わせ 広島京大会事務局 Tel 082（942）2853（井上）

広島京大会は、県内在住の京都大学卒業生約1300人からなる同窓会です



山川宏（やまかわ・ひろし）1965年、スイス・ジュネーブ生まれ、英国在住を経て、小中高時代は神奈川県茅ヶ崎市在住。中学・高校時代は、多くの惑星に到達したNASAのVoyager探査機のような探査機を自分で作りたいと考える。東京大学大学院、ISAS（宇宙科学研究所）助手・助教授、JAXA（宇宙航空研究開発機構）助教授、NASA（米国航空宇宙局）客員科学者、ESA（欧州宇宙機関）客員科学者などを経て、2006年9月から京都大学生存圏研究所教授。宇宙工学が専門、宇宙政策に従事。特にロケットや人工衛星の計画立案、主に飛行計画、機体設計を行っていた。近年は、宇宙ごみ（スペースデブリ）の観測手法・モデル化・低減手法、そして、地球接近小惑星の対処法などの研究を行っている。2010年以降、内閣官房の宇宙開発戦略本部事務局長（行政官）、JAXA 宇宙科学研究所の宇宙工学委員長、現在は、内閣府宇宙政策委員会委員。2013年、「宇宙探査機はるかなる旅路へ」（化学同人）を出版。

会場の地図 ANA クラウンプラザホテル広島

